

第8回「わのうち未来塾」

- 1 期 日 令和元年8月7日（水）
13時30分から15時30分
- 2 講 師 町保健センター保健師 片桐はるか、助産師 高橋珠美 田邊むつえ
- 3 参加者 合計30名
- 3 内 容 自分の大切さを知ろう

○助産師さんでどんな人、みんなどうやって生まれてきたの。（助産師の話）

受精から胎児が子宮の中でどのように生育するのか。

出産はどのように骨盤を通り抜けるか。（模型による実演）

陣痛による出産と帝王切開の説明。

○5つの体験コーナー（5グループに分かれ5つの体験をする。）

・離乳食の話。

乳児期から1歳児までの離乳食の変化（模型）

粉ミルクの試飲、十倍がゆの試食、

・赤ちゃんグッズを見てみよう。

産着、幼児着、抱っこひも、うばぐるま等を触ってみる。

赤ちゃんのおもちゃに触れてみる。

・おなかの赤ちゃんの大きさ、重さはどれくらい。

胚芽、子宮の中の赤ちゃん模型（3ヶ月、6ヶ月、9ヶ月）、1500g・2700g・3000gの赤ちゃん模型を抱いてみる。

・赤ちゃんクイズ。

赤ちゃんの始まりはどれかな。子宮の中の赤ちゃんの周りの者は何か。

へその緒は何cm。赤ちゃんを出産するときに母親の体重は何kg増えるか。

・赤ちゃんの様子を見たり、妊婦さんの話を聞く。

3ヶ月から9ヶ月の赤ちゃんとのふれ合い。

6組の母親と一緒に赤ちゃんの動きを見る。

□まとめの会（引率者、講師）

・講話だけでなく、いくつも準備された体験コーナーがあり良かった。

・女子のグループはより関心ををもって体験できた。

・感想で、命の大切さをあげた児童がいてたいへんよかった。

